

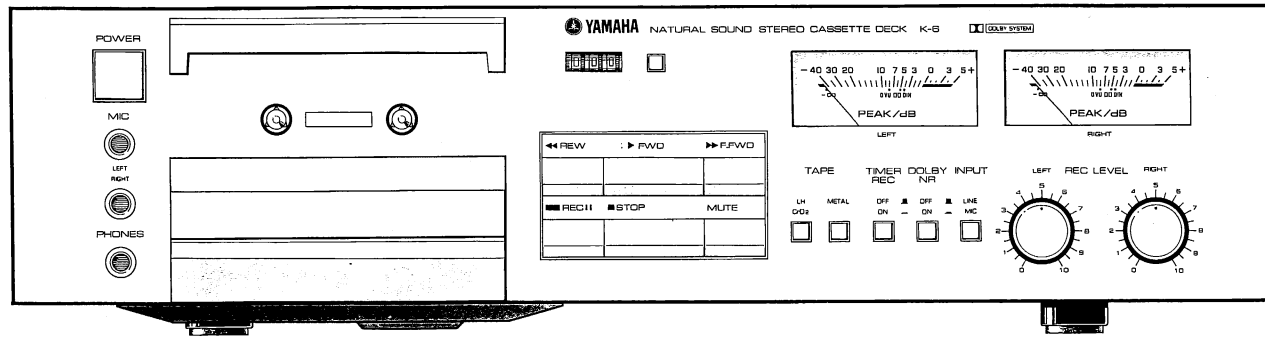


YAMAHA

K-6

NATURAL SOUND STEREO CASSETTE DECK

取扱説明書



●ごあいさつ

このたびは、ヤマハステレオカセットデッキK-6をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。
K-6の性能をフルに発揮させると共に、長年支障なくお使いいただくため、ご使用の前にこの取扱説明書をぜひお読みくださいますようお願いいたします。

●特 長

- 録音・再生ヘッドにPureセグダストヘッド、消去ヘッドにメタル対応フェライトヘッドを採用しています。最高の磁気特性を持つ素材の使用や、ヘッドのインピーダンスを従来の4にし過渡特性の向上をはかるなど、ヤマハ独自の手法によりMETALテープの性能を十分に発揮できます。
- 40～+5dBまで45dBのレンジを持ち、リカバリ時間をDIN準拠の1.5秒にした大型ピークレベルメーターが装備されています。
- 高集積度1パッケージ録再プリアンプを採用し、信頼性の高い構成となっています。

- ハイインピーダンス型ヘッドホンにも対応できるユニバーサルヘッドアンプを備え、インピーダンスが8Ω～数KΩまでのヘッドホンも使用できます。
- Dolby NR回路により高域のSN比を大幅に改善でき、また連動MPXフィルタースイッチにより、キャリアリークに対する対処も万全です。
- TAPEセレクターボタンをLH、CrO₂ポジションにしておくと、クロムテープ自動切り換え機構により、クロムテープ装着時に録音バイアス電流とイコライザー特性が自動的に切り換わります。

- スペースファクターやスタイリングを考慮し、カセット本来のコンパクトさとトータルインテリア性を重視したスリムなプロポーションで、洗練されたデザインのコンポーネントデッキです。
- カセットテープ装着部は、Direct Cassette Loading Systemとし、テープ装着時に動作する“テープ装着検出センサー”を備え、操作性と共にヘッド及びメカ保護を考慮した設計になっています。
- メカニズム部は1モーター、2プランジャー方式によるフェザータッチの操作ボタンで、ICによるヤマハ独自のロジカルコントロール回路により高い信頼性を備えています。

●目 次

特長	2
ご使用になる前に/次のことにご注意ください	3
各部の名称と機能	4
録音、再生の手順	6
留守録音	7
カセットテープについて	8
規格	9
ブロックダイアグラム	10
故障と思われるときには	11
サービスのご依頼について	12

K-6

ご使用になる前に／次のことにご注意ください

●設置場所にご注意ください

次のような場所に置きますと音質を悪くしたり、故障の原因となりますのでご注意ください。

- ①直射日光の当る所や暖房器具のそばなど、極端に暑い場所（35℃以上）
- ②温度の特に低い場所（-5℃以下）
- ③湿気やホコリの多い場所
- ④振動の激しい場所
- ⑤磁気の強い場所：テレビやモーター、トランス類を使った家電製品のそばには置かないようにしてください。

●電源コードの取り扱い

電源コードは傷つけないように大切に扱い、コンセントからはずすときもコードを引っばらないで、必ずプラグを持って抜いてください。旅行などで長期間ご使用にならないときは、必ずプラグをコンセントからはずしてください。

●無理な力を加えない

本機のスイッチやツマミ類は、説明に従い適正な操作をするようにしてください。無理な力を加えますとコントロール部に負担がかかり、故障の原因となります。

●キャビネットを開けない

キャビネットや底板を開けて中にふれることはおやめください。故障と思われるときは、お買い上げ店、または、もよりの日本楽器ステレオサービス係にご相談ください。

●セットのお手入れは

セットをベンジンやシンナー系の液体で拭いたり、近くでエアゾールタイプの殺虫剤を散布することは避けて、お手入れは必ず柔らかい布などで乾拭きするようにしてください。

●ヘッドの清掃

本機には、SN比や歪特性の良い新開発Pure センガストヘッドが採用されていますが、古いテープやほこりなどで汚れたりしますと音質に悪影響を与えるばかりでなく、音が出なくなる場合もあります。ヘッドは綿棒やクリーニングテープで定期的に、必ず清掃してください。

●使用テープは

本機はMETALテープ対応デッキですが、フェリクロームテープ対応にはなっていません。テープはLH、CrO₂（クローム）、METALテープを使用してください。

●テープの保管は

テープがたるまないようにストッパーをつけるか、市販のカセットケースに入れ、直射日光、湿気、高温および磁気のあるところ（テレビやスピーカーの近く）には置かないでください。高温や湿気はテープをいため、磁気は録音した音を消してしまいます。また、テープ面には直接指先などを触れないようにしてください。

●落雷に対する注意

落雷などの恐れがあるときは、早めに電源プラグをコンセントからはずしてください。

●保証書の手続き

お買い上げいただきました際、購入店で必ず保証書の手続きを行なってください。保証書に販売店印がありませんと、万一サービスの必要がある場合保証期間中でも実費をいただくこととなりますので充分にご注意ください。

●保管してください

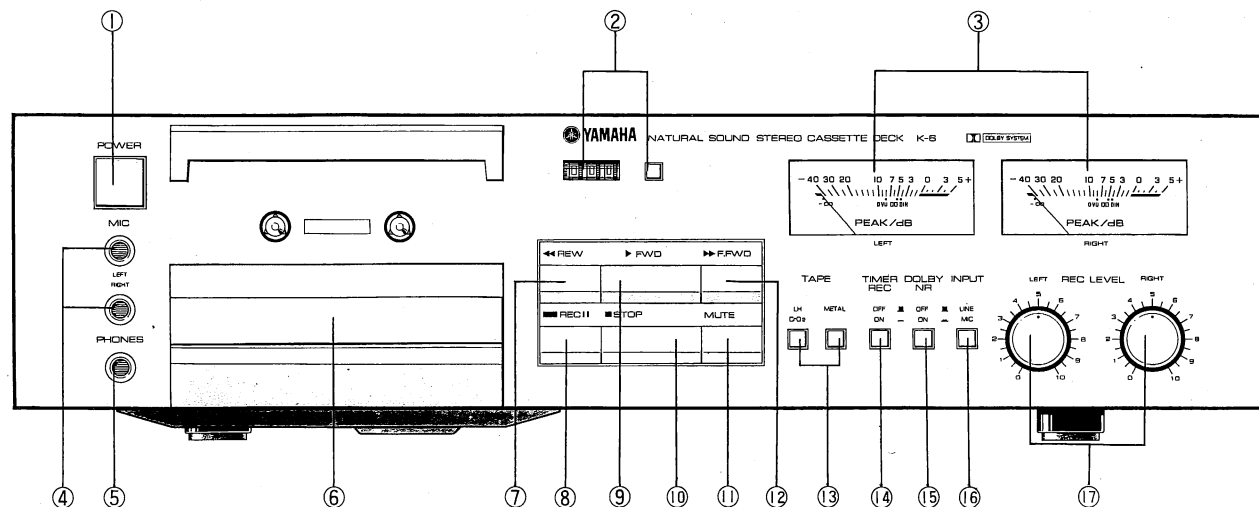
この取扱説明書をお読みになった後は、保証書とともに大切に保管してください。



これは電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

●ステレオを楽しむエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては大変気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところに迷惑をかけてしまうことがあります。適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



注. 操作ボタン⑦～⑫は、電源スイッチON時でもカセットテープが装着されていないと動作しません。
これは本機に採用されている、ヘッド及びメカ保護のための“テープ装着検出センサー”の働きによるものです。

①電源スイッチ (POWER)

電源スイッチをONにすると電源が入り、電源スイッチのボタン、カセットテープ装着部、PEAKレベルメーター内部に照明ランプが点灯します。OFFにすると照明ランプが消え、電源が切れます。
※POWER ON後すぐにFWDボタンを押しても約3秒間は動作しません。

②テープカウンター/リセットボタン

録音を始める前にリセットボタンを押してテープカウンターを“000”にセットし、録音後にその内容とカウンターの表示を記録しておくプログラムが頭出しの目安となります。

③PEAKレベルメーター

録音、再生時のレベルを-40dB～+5dBの範囲で表示します。リカバリー時間はDIN準拠の1.5秒になっています。(一般のVU計の0VUレベルは本機のPEAKレベルメーターでは-8dBの点に相当します。)

④マイク端子 (MIC)

マイクロホンのプラグを差し込みます。

⑤ヘッドホンジャック (PHONES)

ヘッドホンのプラグを差し込むと、ヘッドホンで録音、再生時のモニターができます。

⑥ヘッドカバー

カセットテープ装着時にはカバーを手前に開きます。デッキを使用しない時は、ヘッドや内部メカをほこりなどから保護するため開けておきましょう。

⑦巻き戻しボタン (◀◀REW)

テープを巻き戻すとき押してください。テープが巻き終わりますと、テープは自動的に停止します。

⑧録音スタンバイボタン (REC II)

このボタンを押すと赤色のインジケーターが点灯し、録音スタンバイ状態となります。この状態で録音レベルのセッティングができます。

⑨ プレイボタン (▶ FWD)

テープ再生のとき押します。録音スタンバイ状態のときこのボタンを押しますと録音開始となります。テープが巻き終わりますと、テープは自動的に停止します。

⑩ 停止ボタン (■ STOP)

テープ再生、録音、早送り、巻き戻しを停止させるときに押します。

⑪ 録音ミュートボタン (MUTE)

録音中にこのボタンを押すと、押している間録音信号をカットします。この場合テープは走行しています。

FMエアチェックの際CMをカットしたり、アフターレコーディングに備えてブランクスペースを入れるなど、ワンタッチで無録音状態をつくることができます。

⑫ 早送りボタン (▶▶ F.FWD)

テープを早送りするとき押してください。テープが巻き終わりますと、自動的に停止します。

⑬ テープセレクター (TAPE)

LH, CrO₂ (クローム) テープとMETALテープの連動切り換えスイッチで、同時にテープに合った録音バイアス電流とイコライザー特性に切り換ります。

● LH, CrO₂ スイッチ

LHまたはCrO₂テープを使用するとき押して切り換えてください。LHとCrO₂テープの切り換えは自動切り換え機構により切り換ります。

● METAL スイッチ

METALテープを使用するとき押して切り換えます。

⑭ タイマー録音ボタン (TIMER REC) タイマー再生ボタン

別売のタイマーを用い留守録音ができます。本機のTIMER RECボタンをONにしておくと好きな時間に録音することができます。

※タイマーを使わない時、このボタンは必ずOFFにしておいてください。ONのまま電源スイッチをONにしますと、録音状態となり録音済みのテープを消してしまうことがありますのでご注意ください。


※カセットハーフ消去防止用穴のツメを取り去ったカセットテープでTIMER RECボタンをONにしてご使用いただけますと、タイマー再生として使用できます。

⑮ ドルビーNRボタン (DOLBY NR)

ドルビーシステムとは録音時、小信号レベルにおけるテープのヒスノイズ(サーツという高域成分)を効果的に減らす回路システムです。


ドルビーシステムで録音、再生するときは、このボタンをONにしてください。ピアノシモでも極めてノイズの少ない録音、再生が楽しめます。

ドルビー再生はドルビー録音されたテープにのみおこない、その他の場合はOFFにしてください。

※DOLBYと  マークは、ドルビー研究所の登録商標です。ノイズリダクションシステムは、ドルビー研究所より実施許諾されています。

⑯ 入力切り換えボタン (INPUT)

録音時、マイク入力と本機リヤパネルからのライン入力の切り換えを行いません。

ボタンを押すと () → MIC 入力

もう一度押すと () → LINE 入力

の録音ができます。

※ラインとマイクのミキシングは行なえません。

⑰ 録音レベルコントロール(REC LEVEL)

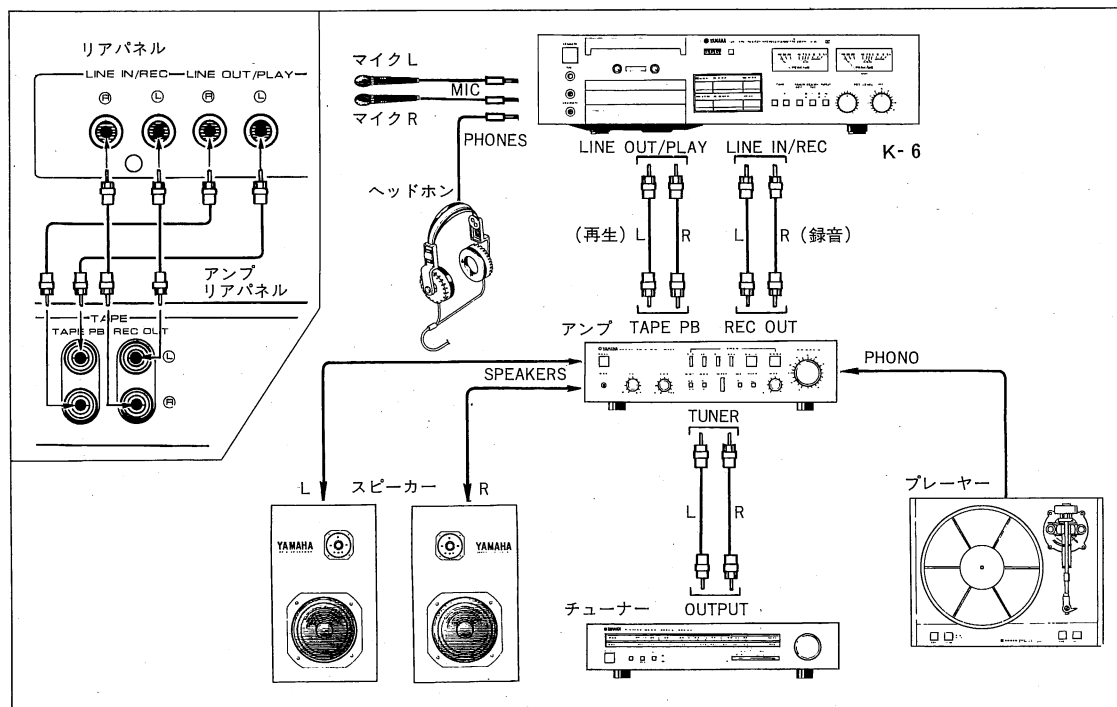
録音するとき、⑯の入力切り換えボタン(INPUT)で選んだ端子(LINEあるいはMIC)からの入力レベルをPEAKレベルメーターを見ながら調整します。左右チャンネルそれぞれ単独に調整できます。調整方法は6頁を参照してください。

※本機にはPEAKレベルメーターが内蔵され、指示値はPEAK表示となります。

録音の際には0dBを越えないようレベルをセットしてください。

K-6

録音、再生の手順



注. 各セットの接続はアンプの電源を切ってから接続してください。

●録音の前に

1. 接続図を参考に、各セット間の接続コード、電源コードが正しく接続されているかどうか確認してください。
付属の接続コードは、白のプラグをL(左)チャンネルに、赤のプラグをR(右)チャンネルに接続してください。
またプラグはしっかり差し込んでください。差し込み方が不完全ですと雑音などの原因になります。

2. 電源スイッチ (POWER) をONにします。
3. ヘッドカバーを開け、カセットテープをセットします。
4. ドルビーで録音する場合は、ドルビーNRボタン (DOLBY NR) をONにします。
5. 入力切り換えボタン (INPUT) をマイク録音の場合はMICに、ライン録音の場合はLINEにセットします。
6. 録音スタンバイボタン (REC II) を押します。
7. PEAKレベルメーターを見ながら録音レベル

コントロール (REC LEVEL) で入力信号のレベルを調整します。

通常の音楽録音の場合はメーターの振れが-30dB ~ 0 dBの間で行なわれ、ピーク時に0 dBを越えないように調整してください。

8. テープカウンターのリセットボタンを押し、カウンターを"000"にしておくとプログラムの頭出しのときの目安となります。

●録音開始

9. プレイボタン (▶FWD) を押しますと録音状態になります。
10. 録音状態をモニターしたい場合は、アンプに接続されたスピーカーかヘッドホンでモニターしてください。
11. 録音中録音ミュートボタン (MUTE) を押しますと、押している間、無録音状態をつくることができます。
12. 録音を一時停止したい場合は、録音スタンバイボタン (REC II) を押せばテープは止まります。スタートする際はプレイボタン (▶FWD) を押ししてください。(録音スタンバイボタンとプレイボタンを交互に押すことにより断続した録音ができます。)
13. 録音が終わったら停止ボタン (■STOP) を押ししてください。

※テープが全部巻き取られるとフルオートストップ機構が働き、テープは自動的に停止します。
さらに片面を録音するときは、カセットテープを裏がえしてセットしてください。

●再生の前に

1. 接続図を参考に、各セット間の接続コード、電源コードが正しく接続されているかどうか確認

K-6

留守録音

してください。

2. 電源スイッチ (POWER) をONにします。
3. ヘッドカバーを開け、録音済みのカセットテープをセットします。
4. ドルビー録音されたテープはドルビーNRボタン (DOLBY NR) をONにします。

●再生開始

5. プレイボタン (▶FWD) を押しますと再生状態になります。
6. アンプ側のVOLUME, BALANCE, TONE CONTROLなどを適切な音量、音質に調整してください。
7. 再生を止めたい場合は、停止ボタン (■STOP) を押してください。
8. 再生が終わりテープが全部巻き取られると、フルオートストップ機構が動き、テープは自動的に停止します。

※続けて裏面を再生するときは、カセットテープを裏がえしてセットしてください。

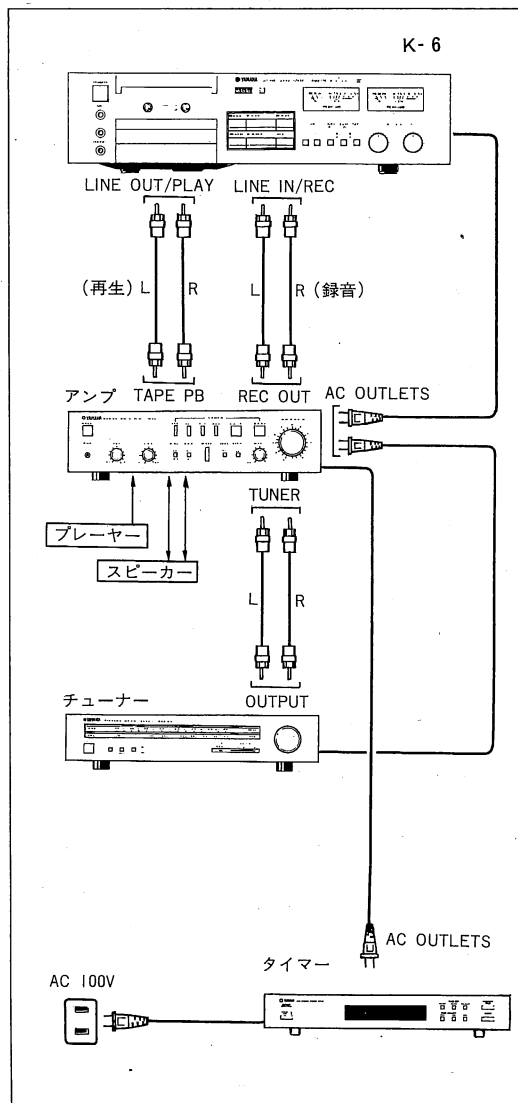
●早送り

テープの途中から再生するなど早く先を進めたいときは、早送りボタン (▶▶F.FWD) を押してください。テープは短時間で巻き取られます。止めるときは停止ボタン (■STOP) を押してください。

●巻き戻し

テープを巻き戻してもう一度再生するようなときは、巻き戻しボタン (◀◀REW) を押してください。テープは高速で巻き戻されます。止めるときは停止ボタン (■STOP) を押します。

※早送り、巻き戻しともテープが巻き終わると、フルオートストップ機構により自動的に停止します。



本機のタイマー録音ボタン (TIMER REC) をONにしておくと、市販のタイマー (YAMAHA DT-2など) を利用して、好きな時間にFM放送などの録音ができます。

●留守録音のしかた

1. 接続図を参考に、各セット間の接続コード、電源コードを正しく接続します。
2. アンプ、チューナー、レシーバーなどの電源スイッチをONにして録音したい局を選局しておきます。
3. 録音の前に(6頁)の2~8に従って本機をセットします。
4. タイマーを希望時間にセットします。これで各セットの電源は自動的に切れます。
5. 本機のタイマー録音ボタン (TIMER REC) をONにします。
6. タイマーでセットされた時間がくると各セットの電源がONとなり、録音が始まります。
7. 録音終了後は、本機のオートストップ機構により、テープは自動的に停止します。

※タイマーの動作時間は、録音時間より少し多めに幅をもたせておいてください。

※カセットの消去防止用の穴のツメが折られたテープを使用しますと、録音動作となりません。留守録音を始める前にこのツメが有ることを確認してください。(8頁参照)

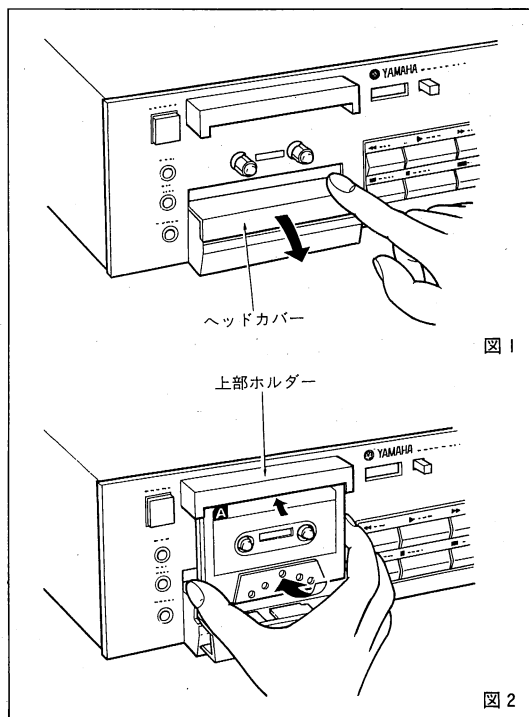
※消去防止用のツメの無い録音済みのテープを利用し、上記のような操作でタイマー再生 (目覚まし再生) ができます。音量はあらかじめアンプ側で調整しておきます。

K-6

カセットテープについて

●カセットテープの着脱

1. ヘッドカバーを開けます。
2. カセットテープの録音、または再生する面を手前にし、カセットテープ上部を上部ホルダーにさし込み、テープ下部をデッキ側に押し込みます。



3. カセットテープの取りはずしは“2”の逆の要領で行なってください。
4. 本機を使用しないときは、ヘッドや内部メカをほこりなどから保護するためヘッドカバーを閉めておいてください。

市販のカセットテープには多種多様の製品がありますが、その構造については規格が統一されていますので各メーカーのものが共通で使用できます。

●カセットテープの録音時間による分類

カセットテープの型名は、両面往復の時間を“分”単位で表示してあります。

種類	録音再生時間		テープの長さ(m)
	片道(分)	往復(分)	
C-30	15	30	45
C-45	23	45	68
C-60	30	60	90
C-90	45	90	135

※C-120のテープは、ちょっとしたご使用上の不注意で、機械的・電氣的トラブルの原因となるおそれがありますので、ご使用にならないでください。

●カセットテープの材質による種類

カセットテープは磁性材質や、製造方法によって特性が異なります。そこで、そのテープに合ったバイアス量を選択する必要があります。

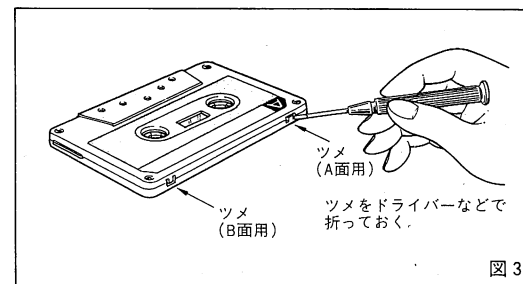
本機では、テープセレクトター及びクロムテープ自動切り換え機構により、バイアス電流とイコライザー特性が自動的に切り換わり、どのテープにも（フェリクロムテープは除く）適した充分な性能を発揮させることができます。

下表に本機の推奨テープを示します。

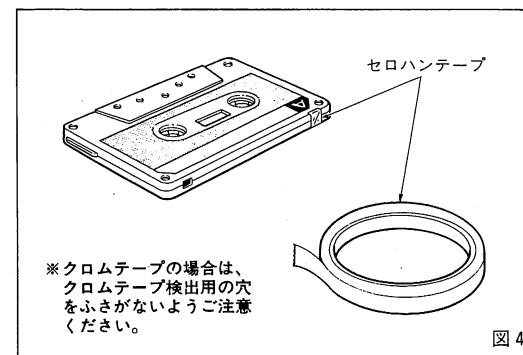
テープ	TAPE位置	LH	CrO ₂	METAL
BASF		SLHI		
FUJI		Range 4,6	Range 4X	Super Range
Maxell		UD	XLII	MX
Scotch		Master 120 μ s	Master 70 μ s	Metafine
SONY		AHF	JHF	Metallic
TDK		AD, OD	SA	MA

●録音内容の保存

カセットテープには、大切な記録をあやまって消さないように消去防止用の穴があります。録音後、この穴のツメをドライバーなどで取り去ると重ねて録音できませんから、録音済みの大切なプログラムをいつまでも保存することができます。



ツメを折ったカセットテープに再び録音したい場合には、穴をセロハンテープなどでふさいでください。再び録音ができます。



K-6

規格

●ヘッドイレーサーの使い方

ヘッドが帯磁してくると再生音に雑音が入ったり、高音が消されたり、録音時にノイズが入ったりします。市販のヘッドイレーサーで消磁してください。

1. 電源スイッチ(POWER)をOFFにします。
2. ヘッドカバーを開けます。
3. ヘッド面にイレーサーが触れないようにして、消磁をしてください。

※くわしくは、ヘッドイレーサーの取扱説明書を参照してください。

●テープのたるみを直す

テープがとび出したり、たるんだままご使用になりますと、キャプスタンにテープがからみついたりする原因となります。こんな場合には、鉛筆やボールペンをカセットハーフのリール軸に差し込んで巻き取り、テープのたるみを直してください。

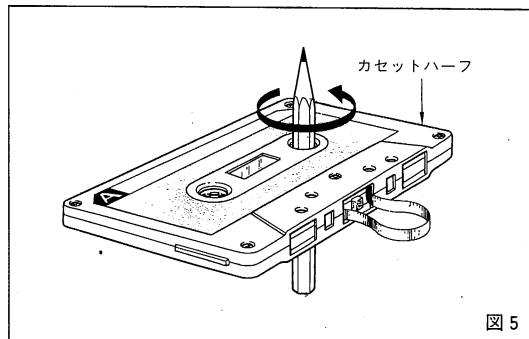


図 5

●ご注意ください

あなたが本機で録音したものは個人として楽しむなどのほかは著作権法上、権利者に無断で使用できません。

●規格

■型式

4トラック2チャンネルステレオカセットデッキ

■メカニズム部

テープ速度.....4.8cm/秒

ワウフラッター.....0.04%以下(JIS-WRMS)
±0.15%以下(DIN-45500)

早送り・巻き戻し時間.....75秒以内(C-60使用時)

モーター.....DCモーター

オペレーション機構.....1モーター2プランジャー

付属機構.....フルオートストップ機構

■ヘッド部

録音再生周波数特性.....30~16000Hz±3dB(LH, -20VU)

30~19000Hz±3dB(METAL, -20VU)

30~18000Hz±3dB(CrO₂, -20VU)

入力感度/インピーダンス.....MIC : 0.3mV/5KΩ

LINE : 50mV/100KΩ

出力感度/インピーダンス

LINE : 340mV

PHONES : 4mW/150Ω(OVU)

総合SN比.....60dB以上

(JIS-WTD, CrO₂, ドルビーNR OFF)

総合歪率.....1.0%以下 (LH, 1KHz)

1.5%以下 (CrO₂, 1KHz)

1.0%以下 (Metal, 1KHz)

■総合

使用半導体数.....トランジスター 46

IC 10

ダイオード 33

定格電源電圧.....AC 100V

定格電源周波数.....50/60Hz

定格消費電力.....30W

外形寸法(W×H×D)mm.....435×111.5×324

重量.....6.3kg

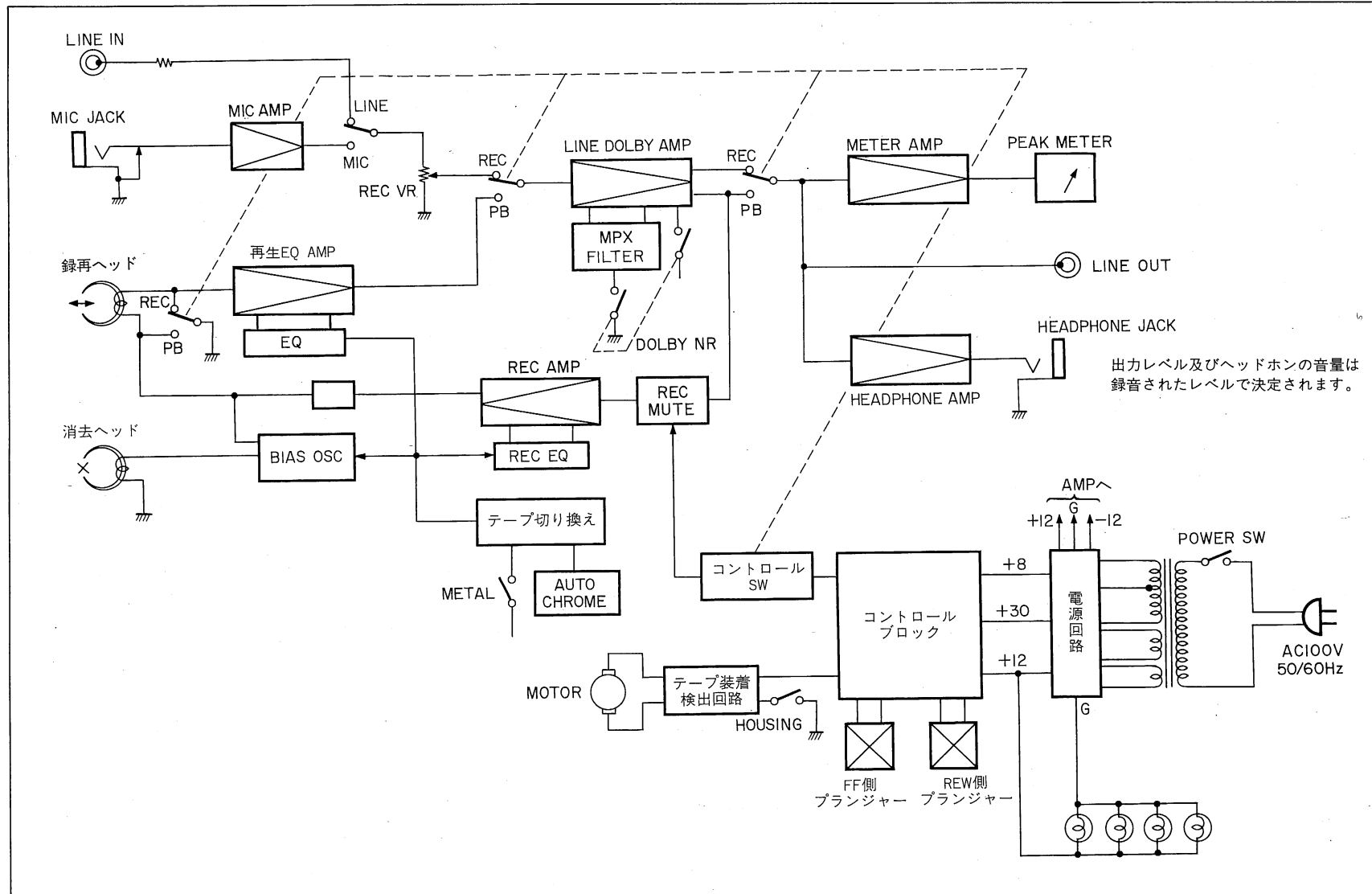
付属品.....ピンコード(入出力コード)×2

※規格及び外観は改良のため予告なく変更されることが
ございます。

K-6

ブロックダイアグラム

●ブロックダイアグラム



K-6

故障と思われるときには

カセットデッキの調子が悪いとすぐ故障と考えがちですが、単なるセットミスによる場合がほとんどです。このような症状の場合は故障ではありませんので、サービスをご依頼される前に、もう一度お調べください。

症 状	原 因	処 置
テープが回らない (録音/再生時)	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグの差し込み不完全、POWERスイッチがOFFになっている テープが巻き終わっている 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントにしっかり差し込み、POWERスイッチをONにしてください テープを巻き戻すか、カセットテープを裏返して使用します
録音スタンバイボタンを押しても動作しない	<ul style="list-style-type: none"> カセットテープが入っていない(テープが装着されていませんと、REW, FWD, F.FWD, RECの各ボタンは動作しません) カセットテープの後部ツメが折れている 	<ul style="list-style-type: none"> カセットテープを入れてください カセットテープを交換するか、ツメの部分でセロハンテープなどでカバーしてください
音がかすれる 音飛びがする	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドが汚れている テープ走行面が汚れている 	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングテープでヘッドを清掃してください 新品テープと交換してください
再生の音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> テープがいたんでいる(片伸びなど変形etc) 録音済テープ自体にひずみがある 	<ul style="list-style-type: none"> 新品テープと交換してください テープ自体のひずみは直せないので、別のテープに替えてテストしてください
再生音のバランスが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ドルビースイッチのセット位置が悪い 	<ul style="list-style-type: none"> ドルビー録音されたテープはドルビースイッチONで、OFFの場合はOFFで再生してください
録音の音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> 録音レベルが高すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> レベルメーターで入力レベルを確認し、録音レベルコントロールをしばってください
再生しても音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> 本機とステレオアンプの接続が不完全 	<ul style="list-style-type: none"> 最初から接続を見直してください
雑音が多い	<ul style="list-style-type: none"> ヘッドが汚れている ヘッドが帯磁している 粗悪なテープを使用している 接続コード差し込み不完全 外部からの誘導雑音 	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングテープで清掃してください ヘッドイレーサーでヘッドの消磁をしてください 良質テープと交換してください 各入力、出力の接続部を点検し、コードを正しく差し込みます 他の電気器具(テレビ、蛍光灯、電気毛布など)の誘導雑音の発生源から離してください
ワウ(音のふるえ)が多い	<ul style="list-style-type: none"> キャプスタン、ピンチローラーなどの汚れ、またはテープの不良 カセットの中のテープが一樣に巻かれていない 	<ul style="list-style-type: none"> クリーニングテープで清掃してください、あるいはテープを交換してください 早送り、または巻き戻してテープをしっかりと巻き直してください
録音または再生の途中でストップしてしまう	<ul style="list-style-type: none"> テープがゆるんでいたたり、飛び出していたためキャプスタンに巻き付いてしまっている、またはテープの不良 	<ul style="list-style-type: none"> 鉛筆などでカセットハウスのリール軸をまわして、テープを張り直してください
マイク録音中“ワーン”という発振音が出る	<ul style="list-style-type: none"> マイクとスピーカーの位置が近すぎる 	<ul style="list-style-type: none"> マイクとスピーカーを離すか、アンプのVOLUMEツマミを回して、音を小さくしてください
録音ボタンを押しても録音できない	<ul style="list-style-type: none"> 録音入力レベルコントロール(REC LEVEL)が絞られている 	<ul style="list-style-type: none"> レベルコントロールを左右共に右に回してください

※上記症状以外の異常が発生した場合は、まず本機のPOWERスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店または日本楽器ステレオサービス係へお知らせください。

サービスのご依頼について

●サービスのご依頼は、お買い上げ店、または日本楽器ステレオサービス係へお願い致します。

■ステレオの保証は、保証書によりご購入日から満1ヵ年です。尚、現金、ローン、月賦などによる区別は一切いたしません。(日本国内のみ有効です。)

■保証期間の1ヵ年を過ぎましても有償にて責任をもってサービスを実施いたします。尚、補修用性能部品の保有期間は製造打切り後最低8年となっております。また、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げ店か右記、お近くのサービスネットワーク(ステレオサービス係)宛お問い合わせください。

■サービスをご依頼される前に

ご使用中に“故障ではないか”とお思いになる点がございましたら、まず本文中の「故障と思われるときには」(前ページ)をお読みになつて下さい。意外と故障でない場合があるものです。(ご依頼をお受けしてお伺いしますと、故障でない場合でも点検代と出張費を頂戴させていただく場合もございますのでご注意ください。)

■サービスのご依頼

サービスをご依頼なさるときは、お名前、お住まい、電話番号をハッキリお知らせください。またお勤めで昼間ご不在の方は、お勤め先の電話番号、もしくは連絡方法をお知らせください。(セットの具合をもう少し詳しくおたずねしたいときや、万一やむをえぬ事情によって、お約束を変更しなければならぬようなときにお客様にご迷惑をおかけしなさいですみませう。)

■日本楽器ステレオサービス係への持ち込み修理故障の場合、出張サービスのご依頼をなさらずに、直接ご自分でお買い上げ店、または最寄りの日本楽器ステレオサービス係へお持ちいただければ、出張料などの経費の点でお徳です。(右欄ステレオサービス係の所在地と電話番号をご参照ください。)

■ステレオの状態は詳しく

サービスをご依頼なさるときは、ステレオの状態をできるだけ詳しくお知らせください。またセットの品名、製造番号などもあわせてお知らせください。(あらかじめ補修部品などを手配し、早く、確実にサービスにお伺いできます。)

※品名、製造番号は本機背面パネルに表示してあります。

■サービスのお約束

昼間ご不在のお客様や留守がちなお客様は、できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂きたく存じます。万一、お約束した日時にご都合が悪い時には、できるだけ早くご連絡くださるようお願い致します。(出張料の二重負担が防止でき、お徳です。)

■日本楽器製造株式会社

本社・工場 〒430 浜松市中沢町10-1 TEL.0534(65)1111
 東京支店 〒104 東京都中央区銀座7-9-18/パールビル内
 TEL.03(572)3111
 銀座店 〒104 東京都中央区銀座7-9-14 TEL.03(572)3131
 横浜支店 〒231 横浜市中区本町6-61-1 TEL.045(212)3111
 横浜店 〒220 横浜西区南幸2-15-13 TEL.045(311)1201
 千葉支店 〒280 千葉市千葉港2-1/千葉中央コミュニティセンター内
 TEL.0472(47)6611
 関東支店 〒370 高崎市歌川町8番地/高崎センター内
 TEL.0273(27)3366
 大阪支店 〒564 吹田市新声屋下1-16 TEL.06(877)5151
 心斎橋店 〒542 大阪市南区心斎橋筋2-39 TEL.06(211)8331
 神戸支店 〒651 神戸市萐合区浜辺通り6丁目1の36
 TEL.078(232)1111
 神戸店 〒650 神戸市生田区元町通2-188 TEL.078(321)1191
 四国支店 〒760 高松市西宝町2丁目6-44 TEL.0878(33)2233
 名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1-18-28 TEL.052(201)5141
 北陸支店 〒921 金沢市泉本町7-7 TEL.0762(43)6111
 九州支店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4 TEL.092(472)2151
 小倉店 〒802 北九州市小倉区魚町1-1-1 TEL.093(531)4331
 北海道支店 〒064 札幌市中央区南十条西1丁目/ヤマハセンター
 TEL.011(512)6111
 仙台支店 〒983 仙台市原町南目薬師堂北2-1 TEL.0222(95)6111
 広島支店 〒730 広島市紙屋町1-1-18 TEL.0822(48)4511
 浜松支店 〒430 浜松市田町32 TEL.0534(54)4115
 浜松店 〒430 浜松市鍛冶町122 TEL.0534(54)4111
 海外支店 ロスアンゼルス・メキシコ・ハンブルグ・シンガポール・フィリピン

サービスのお問い合わせは

■サービスネットワーク(ステレオサービス係)

北海道事業所・〒064 札幌市中央区南十条西1丁目
 (ヤマハセンター内)
 TEL (011)512-6111
 仙台事業所・〒980 仙台市1番町2丁目6-5
 TEL (0222)23-3101
 東京事業所・〒101 東京都千代田区神田駿河台3-4
 (龍名館ビル4F)
 TEL (03)255-2241
 浜松営業所・〒430 浜松市田町32
 (東京海上ビル5F)
 TEL (0534)54-4115
 名古屋事業所・〒460 名古屋市中区錦1-18-28
 TEL (052)201-5141
 北陸出張所・〒921 金沢市泉本町7-7
 (ヤマハ金沢センター)
 TEL (0762)43-6111
 大阪事業所・〒550 大阪市西区江戸堀1-9-1
 (肥後橋センタービル6F)
 TEL (06)445-6421
 四国出張所・〒760 高松市西宝町2丁目6-44
 (高松センター)
 TEL (0878)33-2233
 広島営業所・〒731-01 広島市安佐南区祇園町西原2205-3
 TEL (08287)4-3787
 九州事業所・〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
 TEL (092)472-2151